

## 豊栄病院患者総合支援センター「いするぎ通信」平成31年3月

ちょうどよい上着がなくて、まだユニクロのダウン着てます。早く暖かくなれ。

今月もいするぎ通信をお届けします。



### 臨床検討会のお知らせ

日時:平成31年3月12日(火) **午後7時**

場所:豊栄病院 健診棟2階 多目的ホール

講演1:「看取りの方針」開始1年後のまとめ 柄澤良

講演2:せん妄に対する当院の取り組み 宮島透

共催:豊栄病院、アステラス製薬株式会社

●3月の臨床検討会から開始時間を1時間遅らせます。院外からも多くの参加を御検討ください。講演1は、昨年度より開始した看取りの方針に基づく看取り検討会などの経過をまとめます。今後在宅や施設での看取りが増える可能性があります。参考になるかも。講演2は当院のせん妄に対する取り組みを院長先生が話します。ベンゾジアゼピン系薬剤の減量の問題等も入ると思われます(柄澤)。

### ●多職種チームでの看取りの検討会

日時:平成31年3月12日(火)午後5時15分

場所:豊栄病院 多目的ホール

今回は臨床検討会前に行います。臨床検討会まで時間がありますので、是非参加を検討してください。問い合わせや院外からの参加は患者総合支援センター天木まで(柄澤)。

### ●MSW 日誌: 円山さん登場。丸山ではありません。

40代後半の男性、脳血管疾患で入院、リハビリを行い自宅退院の準備です。杖歩行は一部介助が必要で80代の母と二人暮らし。母からの身体介護は困難、入浴以外の日常動作を本人ができるようにケアマネ、リハスタッフと家屋訪問を行いました。寝室は2

階から1階へ、車いす操作は獲得できたので、洗面所や台所までの動線確保のため物の整理、トイレまでは難しくポータブルトイレを使用する事など多くの相談を行いました。車いすが通れるように、母が日中過ごす居間のこたつを真ん中から端へ移動しテレビの向きを変えて等と、一つ一つは大事ではないかもしれませんが、生活を変える事は容易でなく色々な方法を相談しました。本人の生活・家へ戻ることが退院ですが、疾病や障害の残存によっては、元のまま帰ることが難しい場合も多く、患者・家族の生活も変わります。患者さんの自宅へ何う事で暮らしてや思い、変える事への戸惑いなどを感じたことを覚えています(さやか)。

### ●糖尿病教室:

日時:平成31年3月15日(金)午後1時半

場所:豊栄病院 多目的ホール

隔月開催の糖尿病教室。対象は糖尿病初心者です。患者様の紹介の他、スタッフの参加も歓迎します。前回は2名の施設スタッフにご参加いただきました。次回は3月15日です。お問い合わせは患者総合支援センター天木へ(菊地)。

### ●NST 勉強会

日時:平成31年3月7日(木)午後5時15分

場所:豊栄病院 健診棟2階 多目的ホール

テーマ摂食嚥下障害と食事形態～嚥下調整食の条件や特徴を知ろう～:(株)クリニコ 佐藤恵:

春になったので復活します。前回も院外からの参加がありました。今回も面白いかも。院外から方は患者総合支援センター天木まで連絡を(小林真)。



編集 オムロンから血圧も測れるスマートウォッチが出るそうです。血圧測定の正確さはFDAも承認したんだって。私、血圧の薬飲んでますので欲しい。しかし、アップルウォッチ、買ったばかりだ。センター長 柄澤良